



平成 27 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社ヒガシトゥエンティワン  
代表取締役社長 金森 滋美  
(東証第二部：9029)  
問合せ先 取締役常務執行役員 畠 秀一  
TEL：06-6945-5611

## 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想数値（非連結）と 決算数値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 7 月 29 日に公表した第 2 四半期累計期間の業績予想数値と決算値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想数値との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	百万円 9,046	百万円 269	百万円 275	百万円 171	円 銭 14.93
決算値 (B)	8,728	441	451	294	25.19
増減額 (B-A)	△318	172	175	122	—
増 減 率 (%)	△3.5	63.9	63.7	71.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 9 月期)	8,551	345	362	213	18.55

※（ご参考）前期第 2 四半期実績の 1 株当たり四半期純利益

平成 27 年 3 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。これに伴い 1 株当たり当期純利益の金額は、当該株式分割が前期の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### 2. 差異の理由

当第 2 四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融支援等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しております。

しかしながら、中国経済の減速による株式市場の下落、米国利上げ観測等、世界経済の減速懸念が広がるなか、わが国経済の先行きに対しても不透明な状況が続いております。

物流業界においては、人件費の上昇、価格競争の激化等依然として厳しい状態が続いております。

このような状況の中で、売上高は計画に対し減収となりましたが、外注費等の原価削減及び収益性の高い事務所移転業務等に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は前回予想から 3 億 18 百万円減少の 87 億 28 百万円となる見込みですが、営業利益は前回予想から 1 億 72 百万円増加の 4 億 41 百万円、経常利益は前回予想から 1 億 75 百万円増加の 4 億 51 百万円、四半期純利益は前回予想から 1 億 22 百万円増加の 2 億 94 百万円となる見込みであります。

通期の業績予想につきましては、不確定要素もあるため現時点では変更しておりません。

なお、平成 26 年 2 月 26 日に開示している厚生年金基金の特例解散が当下半年に決議される予定であります。

解散に伴う損失負担額を特別損失に計上することが見込まれ、当期純利益に大きな影響を与える可能性があります。

すが、現時点では厚生年金基金解散に伴う損失負担額について合理的な金額の算定が出来ず、通期の業績予想（平成27年5月14日開示）には反映しておりません。解散に伴う損失負担額の算定が可能となり、業績予想の修正が生じる場合は速やかに開示いたします。

※上記に記載した業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上